



今回から各役員さんからの寄稿や連続コラムも掲載することといたします。その他随時リニューアルできればと考えています。少しづつでも着実に、ご協力いただく皆さまと一緒に活動ができればいいと思います。引き続き多くの皆さまのご理解を賜りますよう、重ねてお願いいたします。

一語法話

『正信偈の十二光』①

今回から総代の竹本さんに郷土の歴史についてのコラムをお願いしました。あらためて郷土のことを知ることは、ここに生活する私の喜びにつながります。毎回楽しみに読ませていただきました。と思います。

『藝州賀茂郡飯田村 独歩行』

竹本省三

其の一

此の地に凡そ永く棲んでいる人も、童から「どうして飯田なの？」と尋ねられて答えられる人はいないのでしょいか。実は私も分かりません。もう何年も文献を・歴史書を調べてみましたが、どこにも書いてありませんでした。

しかし慶長六（一六〇二）年の地詰帳に飯田村は六拾五町一反六畝八分、石高四百六拾四石一斗一升九合とあります。この頃の人口は書かれていませんが、幾星霜時は流れて安永三（一七七五）年には五三七人とあります。

普放無量无边光  
：超日月光照塵刹  
阿弥陀仏はすべての人を救うためにどのようなお力を持たれた仏になられたのか？親鸞さまはそれの働きを十二の光と示してお教えください。つまり無量光、无边光、無碍光、無对光、光炎王光、清浄光、歓喜光、智慧光、不断光、難思光、無称光、超日月光の十二のお力の事です。それぞれどのような働きなのか、無量光から親鸞聖人の書かれたご和讃を通して味わっていきます。

智慧の光明はかりなし  
有量の諸相ごとく  
光暁かぶらぬものはなし  
真実明に帰命せよ  
ここで、無量とは何かと言いますと、「智慧の光明はかりなし」と言われていきますように、智慧の光明が無量であるという事です。つまり、阿弥陀仏は無量の智慧を持たれた仏様なので、無量光と言われるのです。では、次に智慧にはどのような働きがあるのか、その真実明と言われている、智慧の光明によつて、私たちが

の自分に暗い愚痴の闇を照らし、ありのままの姿を明らかにしてくれたいとを言います。私たちは自分の姿が分からないために、間違いを繰り返して、同じ間違いを繰り返して、苦しみを繰り返して、阿弥陀仏はそんな私たちにありのままの姿を知らせて自分の間違いに気付かせ、除こうとされて苦しみを取ります。次に「有量の諸相」といふことは、阿弥陀仏は無量の智慧を持つておられるので、私たちが

抑、飯田村の「いわれ」はどこにあるのでしょうか。お隣の宗吉村、米満村、正力村、篠村も同様です。後に想像して意味を付けた村もありません。理由は村の古の出来事は「不知（わかりません）」と書き、私達は米作りに精を出し、忠義の限りを尽くしていますという姿勢が大切な時代だったからです。文久二（一八一九）年、村々で国郡志下調査出帳を藩に提出しています。広島藩では芸藩通史として遺しました。どの村も不知と書いています。

私は歴史研究者ではありませんが、古文書の解読を生業として暮らすようになりました。人に尋ねたり、その土地を実際に歩いて調べたり、歴史研究家の講義を聴いたりしていると、各地の歴史から飯田村の歴史を紐解く鍵になることが分かつたのです。歴史は陸と海とまで淵源に繋がっているのです。調べた事が確かなものになった時は、活字にして皆さんにお示しすることにしています。毛利氏の発祥の地を取材し「毛利之泉」、或は浅野長晟が広島入府四百年を記念し今年に講演を行いました。



今月の寺報から、子ども達からお寄りまで分かりやすく楽しめる飯田村に関連した歴史を連載することになりました。

親鸞聖人の御心と歴史そして農業に勤しむ凡夫の終始は、日々を疎かにし得ない営みと冥合すること存じ奉ります。

（次号へ）



がどんな人間であつたとしても、ありのままの姿を明らかにして下されるという事です。ただし、私たちが自惚れ強く、理想の自分に執着している姿が知られると自分の理想とかけ離れておれず、とても受け入れられず、阿弥陀仏は私たちに受け取れるように、まずはおの光のようにつくります。私には子どもが三人、それぞれ学校でいろいろな

学びをしてきて、自分自身振り返ると、学生の考問の学びとは、その方々を学んだものであつて、それを土台に社会に出てからが本当の学びでありました。いろいろな経験を重ねて初めて本当の自分に向き合う事ができるのだと思います。まだこれからの五十歳代、六十歳代についての学びは自分なるとは実はこのようでも、取り乱すばかりとは決してできないと思います。だからこそ、阿弥陀仏は様々な学びのご縁を通して、本当の自分の姿を少しずつ知らせてくれるのです。それはこそ暁の光のようにはたらきで。

（次号へ）

妙徳寺ホームページ  
<http://myotoku-ji.sakura.ne.jp/>  
ホームページ内で行事予定を随時更新しています。

合葬墓・墓地区  
有縁の皆さんでおまもりしている合葬墓と一般墓地があります。たくさんのお方に利用いただけます。

志和組テレホン法話「みのりの電話」  
433-4989 (しじゅうさんざん、しくはつく)

1月 1日～	報専坊	松島純以
1月 11日～	志和東	石川了真
1月 21日～	天龍寺	天野英昭
2月 1日～	光源寺	堀 雅美
2月 11日～	寿福寺	田中 真
2月 21日～	八本松篠	岡本法治
3月 1日～	報専坊	松島典子
3月 11日～	照栄寺	井口英隆
3月 21日～	長松寺	笠岡淳一

志和、八本松川上地区の本派寺院13カ寺のテレホン法話です。3分程度のお話を24時間いつでもお聞きいただけます。ぜひ、電話でもお聴聞してください。

「写経の会」開催予定日

1月 25日 (土)	午後2時より	／	24日 (金)	午後2時より
2月 8日 (土)	午後2時より	／	28日 (金)	午後2時より
3月 14日 (土)	午後2時より	／	27日 (金)	午後2時より

申し込みは 金曜日の部代表\_西本さん(428-2466)、土曜日の部代表\_廣川さん(428-5935)または妙徳寺へご連絡下さい。

「妙徳寺仏教壮年会例会」開催予定日

1月 11日 (土)	午後6時から新年会
2月 8日 (土)	午後7時より定例会
3月 14日 (土)	午後7時より定例会

毎月第2土曜日午後7時開催を原則としています。

「おみのりサロン」開催予定日

1月 26日 (日)	午後1時より (こども寺子屋と併催します)
2月 10日 (月)	午後2時より1時間半 (『大乘』講読会と座談会など)
3月 9日 (月)	午後2時より1時間半 (『大乘』講読会と座談会など)

「お茶の会」開催予定日 (参加者募集中、ご連絡ください)  
1/18 (土) 午後2時より。以降の予定は電話かホームページでご確認ください。